

# 目 次

---

I	調査の概要	1
II	サンプル・デザイン	3
III	調査回答者のプロフィール	7
IV	調査結果の詳細	11
1	暮らしの変化について	
(1)	暮らしの変化	11
(1-1)	暮らしが悪くなった理由	14
(2)	暮らしの満足度	17
(3)	今後の暮らしの状況	20
(4)	今後の暮らしで力を入れる点	23
2	県政への要望について	
(1)	県政への要望	26
3	日常生活について	
(1)	文化・芸術活動について	32
(2)	スポーツ活動について	35
(3)	住んでいる地域について	38
(4)	社会貢献活動について	41
4	栃木県への愛着と誇りについて	
(1)	栃木県に対する愛着	45
(1-1)	栃木県に愛着を感じる理由	48
(1-2)	栃木県に愛着を感じない理由	51
(2)	「VERY GOOD LOCAL とちぎ」の認知度	52
5	第77回国民体育大会開催について	
(1)	2022年に国体を栃木県で開催することの認知度	55
(2)	栃木県で開催する国体を周知するために効果的な広報手段	58
(3)	栃木県で開催する国体に参加・協力できる方法	61
6	地域防災について	
(1)	災害に対する備え	64
(2)	防災訓練の参加状況	67
(2-1)	参加したことがある防災訓練	70
(2-2)	防災訓練に参加したことがない理由・今後参加したいと思わない理由	73
7	青少年の健全育成について	
(1)	「家庭の日」「とちぎの子ども育成憲章」の認知度	76
(2)	青少年が利用する携帯電話等にフィルタリング機能を設定することについて	79

---

(2-1) フィルタリング機能の利用率を向上させるための取組	82
<b>8 男女平等意識について</b>	
(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感	85
(2) 働く場での男女の地位の平等感	88
(3) 男女平等な社会を推進していくための県の取組	91
<b>9 とちぎの元気な森づくり県民税について</b>	
(1) 重要と考える森林の働き	94
(2) 「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で重要なもの	97
(3) とちぎの森林を元気な姿で次世代に引き継ぐためにできる取組・したい取組	100
<b>10 障害者差別の解消について</b>	
(1) 障害のある方が障害のない方と同じように生活していくための環境づくり	103
(2) 障害のある方が障害のない方と同じように生活していくための事業者の負担	106
(3) 「共生社会」を実現するための県の取組	109
<b>11 食の安全・安心について</b>	
(1) 食品の安全性に対する不安	112
(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの	115
(2) 県から発信してほしい食の安全・安心に関する情報	118
<b>12 食品ロスの削減について</b>	
(1) 食品ロスの問題の認知度	121
(2) 食品ロスを発生させないために現在取り組んでいること	124
(3) 食品ロスを発生させないために今後新たに取り組みたいこと	127
<b>13 食に関する意識と実践について</b>	
(1) 食事の際「いただきます」を言っているか	130
(2) 農業体験をした経験	133
<b>14 栃木県の景観づくりについて</b>	
(1) 身近な景観の変化	136
(2) 景観を損ねていると思うもの	139
(3) 景観を良くするために取り組むべき主体	142
(4) 景観づくりを進めていくための行政の取組	145
<b>15 犯罪と治安対策について</b>	
(1) 県内の治安状況	148
(2) 不安を感じる犯罪	151
(3) 交番や駐在所の警察官に特に力を入れてほしい活動	154
(4) 交通事故を抑止するための対策	157
<b>V 調査票</b>	161